会 議 等 経 過 報 告 書

１．件　　名	令和６年度第２回大船渡市立図書館協議会
２．日　　時	令和７年２月 17 日（月）　午後１時 50 分～午後３時 20 分
３．場　　所	大船渡市民文化会館（アトリエ）
４．出 席 者	委　員　：　藤村敏夫会長、金野晋副会長、金野洋子委員、佐々木加代子委員、佐々木規子委員、村上泰子委員 図書館　：　（市）山岸部長、平野館長、遠藤館長補佐、菅野係長 （指定管理者）原田総括責任者、中井業務責任者、小野寺副業務責任者

会　議　等　の　内　容　（要　旨）

１　**開会**（進行：遠藤館長補佐）
　委員出席状況の確認。出席６名、欠席１名。

２　**会長あいさつ**（藤村会長）

３　**部長あいさつ**（山岸部長）

４　**議事**（進行：藤村会長）

報告第１号　令和６年度図書館事業の実施状況及び利用状況（４月～12 月）について
（菅野係長、原田総括責任者説明）

■（佐々木規子委員）
　利用状況で、貸出人数が全体的に減っている理由と、未就学児と高校生が減っている原因はわかっているか。

（原田総括責任者）
　明確にはわかっていない。

（佐々木加代子委員）
　未就学児がいる家庭の方から、絵本を借りて破いたりすると大変だから買いに行くと話を聞いたことがある。

（金野洋子委員）
　未就学児の数は、カードに登録された人の情報で年齢を把握しているのであれば、保護者のカードで子供の本を借りている人もいることから、未就学児が本を借りなくなったということにはならないと考える。

（藤村会長）
　５年度も、６年度も同じ借り方をしているのであれば、少なくなっているのは確かなのではないか。

（金野副会長）
　前年度は休館があったため、４年度と比較した時にどうかを知りたい。全体的に増えているのか減っているのか、その上で未就学児が減っているのはどうなのかなと把握したい。４年度の状況も併せて教えていただきたい。

（中井業務責任者）
　前年度との比較の際、休館期間というのが違う要素ではあるが、昨年度と今年度の再開時期の７月

中旬から5.5カ月と、今年度12月までの９カ月の月平均を比較したところ、６歳以下の50%は大きく目立った数字だった。ただ、子供の貸出しに影響があるのではないかという点について、分野別の貸出しの実績を比較してみると、子供が借りる児童書や絵本の割合は、５年度が貸出全体の20%、６年度が児童書18%、絵本20%と全体に置ける貸出しの比率は、あまり下がってないことから、親のカードを使って借りられていたという傾向があったと考えている。

（藤村会長）
割合が変わっていないことは大人が借りているという部分があると思う。ただし、小さいうちから図書館や図書室に来てもらうというのが大事であると思うので、テコ入れは必要である。

（平野館長）
岩手県図書館協会の会議の場で、県立図書館を含めた県内の図書館の傾向として、貸出人数、貸出冊数が減少し、入館者数が増加しているという傾向にあると聞いた。当館においても、４年度と６年度の入館者数を比べると６年度の方が増えており同様の傾向がみられている。高校生の貸出しは減っているが、閲覧や教材をもってきて学習するなどの姿も見られており、そういう流れ、傾向にあるものと認識している。

■（金野副会長）
今年度、市民文化会館連携図書展という会館の指定管理者との共催があった。個人的に花巻の博物館に行った際、縄文の写真展をやっていて、写真家が撮ったので素晴らしい写真と一緒に土器や埴輪が展示してあり、非常に勉強になった。今回の連携図書展も見た方々に良い影響を及ぼしたと思う。同じ指定管理者で行えるメリットは、どんどん進めて頂きたい。

（佐々木規子委員）
現在、『おしいれのぼうけん』の展示をしているが、あれも良かった。本を借りに来た時に、大きなパネルが目を引くので、「何だろう」と児童書のコーナーに足を運んでもらえる。大きな展示物が目を引いて、身近に触れられる。昔の本なので親世代で知らない人も多いと思うが、知ってる人は「おお」と思うような作品なので、本も手に取ってもらえると思う。こういう展示をたくさんお願いしたい。

（中井業務責任者）
リアスホールには展示ギャラリーなど専用のスペースがあるが、手狭にはなってしまうが、あえて図書館の中でやる事で来館してもらえる。関心を持っていただくことに繋げていきたい。

（藤村会長）
指定管理者制度になって、展示の仕方や本の置き方など色々工夫された所が出てきている。市民の共通の場になっていけばより良いと思う。

■（佐々木規子委員）
これまで協議会で話が出ていた新着図書の帯の展示を実施していただいた。感謝する。

（中井業務責任者）
実施方法について様々検討し、現在の形が利用者に早く提供でき、帯も活用できると考えており、利用者の方からも好評の声をいただいている。

報告第２号　令和６年度図書館資料の購入状況（４月～12月）について　（原田総括責任者説明）

■（藤村会長）
全体の蔵書の分類というのはわかるものか。文学、児童、社会科学等がおそらく多いと思うが。

（中井業務責任者）
資料は準備していないが、毎年数を把握しており、蔵書の多い分野はお見込みのとおりである。
購入に関しては、利用者の需要というのを重く受けとめて行っている。今年度に関しては、小説の利用の割合が20%で一番高く、絵本、児童書、紙芝居などはまとめると40%近くになる。その辺りを

含めて全体のバランスというのを考えている。

（菅野係長）
　もう１点考慮している点としては、そもそも出版される冊数、流通上の割合、例えば言語の分野はそもそも出版自体が少ないということもある。それらも踏まえ、貸出状況、出版状況を加味しながら指定管理者に計画を立ててもらい、それに従い購入を検討するよう進めている。

■（金野洋子委員）
　学校では、どの分類がどれくらい借りられているかの一覧表が出せるが、図書館でも出すことできるか。どの分類の図書を何冊買って、どれくらい借りられているのかなど、管理者としての考察というのをどこかに入れてもらうとありがたい。進捗率だけでなく、市民が望む本の購入に繋がると思う。
　以前アンケートで、本や雑誌等を入れて欲しいといった要望があったが、反映されたか、増えたとして貸出状況がどうなったかなども知りたい。また、貸出しよりもその場に来て閲覧する時間が取れているのか等も知りたい。
　新聞や本を購入することはお金がかかるからしないという高齢者もいる。そういった方の読みたいものを図書館がカバーしてくれると良いのではないか。また、新聞を読むために図書館まで１時間散歩して、図書館で１～２時間過ごして、また、１時間かけて帰る。そういった天気の良い日の過ごし方があるのではないか。

（中井業務責任者）
　新聞の利用は、毎日のように来館される方もおり、閲覧しながら、自分で記録を取ったり、コピーをしたりという姿は見かけている。新聞は貸出しではなく閲覧となるため数字を拾うことは難しい。数は昨年と比べてもそれほど増えていないが、館内で閲覧していく姿も結構見受けられる。

（藤村会長）
　要望があったとしても、図書館全体のバランスを考えると、この雑誌が欲しいと言われても難しい場合はあることは理解していただかなければならない場合もある。

（菅野係長）
　分類別の貸出状況は、次回の協議会の資料の方で出させて頂きたい。どういう表が見やすいかなど研究したい。

（藤村会長）
　分類別の貸出状況を踏まえて購入をどう計画したなど、次回、計画の経緯についても報告してほしい。

報告第３号　大船渡市立図書館利用者アンケートの集計結果について

■（村上委員）
　前回レストランを利用するというような話があったと思うが、その後どうなったか。

（平野館長）
　市民文化会館の指定管理者が、今年度からの新たな取り組みとして始めている。午前９時から午後９時まで、レストランだった場所をフリースペースとして開放している。図書館閉館後にそこへ移動して利用する方もいる。リアスホール全体として、夜９時まで学習ができるという状況である。
　特に夏場は、空調を効かせて過ごしやすい環境を提供しており好評である。

（佐々木規子委員）
　本を読む場合は、図書館から本を借りていくのか、そのまま持って行くのか。

（平野館長）
　本を貸出して、ご利用いただくという形を取っている。

■（藤村会長）
　セルフ貸出機は、アンケートを見ると、そもそも使う気がない人は使わず、使える人は使う。なるべく広めていくくらいにしかならないのではないか。

（原田総括責任者）
　利用の１つの目的として、人に何を借りたのか見られたくないという人が使っているのではないかと捉えている。

（菅野係長）
　子供がセルフ貸出機を使う事自体が面白くて使っているパターンもある。以前の集計では、３～４割までセルフ貸出機の利用率が上昇していた。
　もう１点、アンケートの取り方として、設問の回答による分岐を加えると、答えが変わってくる可能性もあるが、集計が煩雑になることから現状の設問でアンケートを行っている。

（中井業務責任者）
　特に、子供がセルフ貸出機を利用される場合が多い。小学校２年生の生活科見学の際、学校側でも貸出体験を希望されるところが多く、見学の一環でセルフ貸出機の使い方や検索の仕方を教えている。見学後に親子で来館した際、子供が親に得意げにやって見せ、お家の方が「簡単なんだね」と一緒に行うという流れができているようだ。

（藤村会長）
　世の中のデジタル化が進んでいるので、どんどんやらせた方がいいと思う。設問２では、カウンターの方が便利という回答が見られるが、カウンターのスタッフが親切にしてくれているからこその結果であると思う。
　都会では機械の方が早いからと広まっているかもしれないが、職員のサービスを落としてはいけない部分であり、より良いサービスをしてもらうのが大事なことかと思う。

（金野副会長）
　スーパーやコンビニでもセルフレジが増えており、「これはどう使うのか」と感じる世代もいる。
　関東圏のあるスーパーでは、セルフレジを止めたらどんどん人が来るようになったという事例もあるそうだ。やはり、コミュニケーションは求められている。
　「カウンターの良さ」を持ってあたることは、図書館はいい所だと感じていただけることに繋がり、セルフ貸出機も使い、カウンターも大事にするという姿勢がいいのではないか。

（金野委員）
　図書館は、言葉をかわす所がメインであって良いのではないか。セルフ貸出機の利用頻度がどうこうではなく、基本はコミュニケーションを取るサービスを行っていただければありがたい。

■（藤村会長）
　情報の周知方法として、そもそも、インターネット見てない方もいる。知らせるという方法が難しい。広報や東海新報を見たりしながら市のイベント等を知ることもある。

（原田総括責任者）
　人により利用するメディアが違っているため、様々なメディアに出していくことが大事と考えている。

（金野委員）
　図書館のイベントについては、私たちの年代になると、ホームページよりも図書館に貼られているポスターで知る場合も多いように聞く。
　東海新報の記事を見て、行きたかったという経験もある。

（中井業務責任者）
　広報活動については、色々な媒体でのアプローチの研究をしており、市の広報は必ず掲載するよう

にはするが、イベントの内容や企画展示の内容を踏まえ、東海新報への掲載であるとか、今回は若い人に情報を流したいので市のＸにも掲載するとか、広報の方法を工夫している。

■（佐々木加代子委員）
　最近、読売新聞と講談社から「書店活性化へ向けた共同提言」が出されたが、３つ目に書店と図書館の連携が挙げられていた。市内では、図書館と書店の連携は行っているか。

（平野館長）
　まず、今現在取り組んでいることでは、指定管理者の募集に際して市内書店から図書を購入することという条件を出している。これは、全国的に書店が減っている状況を考慮し、市として市内書店を大切にしていきたいという考えから条件化しているもので、指定管理としては珍しい取組みである。
　また、さらに書店と連携した市立図書館の取組みが何か出来ないかという事で、指定管理者と相談をすすめているところであり、決まり次第、協議会で説明したいと考えている。

（佐々木加代子委員）
　図書館で見た本を誰かにプレゼントしたい思った時に、書店に置いてあるかどうかが分かると、通販を使えない高齢者には便利ではないか。連携する方法は、色々とあるのではないかと考える。

（平野館長）
　現在、買っている新着図書の約 95％が市内の書店から購入しているため、ほとんどは購入可能である。一部の専門書や古い図書についてはどうやったら手に入るかという部分もあるため、そういったサービスが出来るか検討していきたい。

（中井業務責任者）
　これまでも、窓口で購入できる本かとの問い合わせは頂いており、流通の状況を調べ、題名と著者名と本の番号（ISBN）が印字された資料を渡し、「これを書店さんにお持ちいただくと必ず書店さんはわかります。」という案内を行っている。

■（金野委員）
　末崎中学校の閉校に伴い、図書室の本が置かれたままになっている。中には昭和 40 年代の図書や、牧野富太郎全集、原色百科図鑑などがあるが、大船渡中学校に持ってきても、活用されない本のため置いてきている。貴重な本が含まれているかもしれないので、図書館の司書に見に来ていただきたい。

（中井業務責任者）
　図書館の資料の中では郷土資料が足りないと感じている。流通していない図書、地元の方が編纂した図書で流通してないものは、図書館にもない可能性があるので、確認したいと考えているが、教育財産であることから、まずは教育委員会と相談し、財産移動が可能であり、子供たちの郷土教育で必要なものがあった場合には図書館で活用させていただきたい。

（金野委員）
　昔、教育センターから各事業所へ独自で発行した図書があれば寄贈してくださいという文書があったが、最近はどうか。学校の記念誌もあると思うが、図書館では寄贈の声掛けはしていないのか。

（中井業務責任者）
　図書館から一斉にアプローチをすることは行っていない。ただし、東海新報などに新たに郷土の図書、震災関連の図書をまとめたなどの記事があった際は、著者等に直接連絡して寄贈をお願いしている。

（金野委員）
　震災の頃に地域で作った本があり、各家庭には配ったが、市へ渡さなかったものがあるが、貴重なものだったかもしれない。何かの機会に「本を作った際は図書館にも提供を」という記載があっても良いと思う。

■（佐々木加代子委員）
　館内の冬場の結露はどうなっているか。

（中井業務責任者）
　結露については、昨年度の空調設備更新後の冬は調整が難しく結露がひどかったが、今年度に入り、徐々に調整が上手くいき、この冬はほとんど発生していない。

（藤村会長）
　館内が寒いという人もいるのか。

（中井業務責任者）
　空調に関しても、昨年度より更に良くなるよう、会館指定管理者が契約した業者からアドバイスをもらいながら、空調の使い方を工夫している。

５　その他
大船渡市立図書館指定管理者募集状況等について　（菅野係長説明：指定管理者退席）

６　閉　会（午後３時 20 分）